

榊原 知美

SAKAKIBARA, Tomomi



【共同研究】

- 国際教育センター共同研究プロジェクト「文化間移動をする子どもの発達・学習に関する心理学的研究—就学後の学力を支える多文化保育のあり方を探る」(研究代表 榊原知美)
学習上の困難を経験しやすい多文化的背景をもつ子どもの発達や学習を促す文化的多様性を考慮した保育のあり方について、心理学および保育実践の視点から検討するものである。2019年度は、中華系の保育所・幼稚園の5歳児クラスおよび台湾の日系幼稚園において実施した保育活動の観察および保育者への面接データの分析をさらに進めた。これによって得られた知見の一部を学会で報告した。

【科研費等の研究】

- 2018-2021年度 科研費 基盤研究 (C)「文化的実践への参加を通じた数量発達と大人の支援：1歳から3歳までの縦断的研究」(研究代表 榊原知美)
幼児早期の1～3歳児が参加する文化的実践としての家庭および保育園での活動に注目し、幼児の数量概念の発達過程を大人の数量支援の構造との関係で縦断的に捉えることを目的とした研究である。本研究では特に、子どもが家庭や保育園での活動において自発的に行う数量行動の1歳から3歳までの間の発達的変化、それに対する保育者や保護者の支援とその変化、の2つの側面について検討している。
- 2015-2018年度 科研費 基盤研究 (C)「多文化状況の保育活動における幼児の数量発達と保育者の支援に関する研究」(研究代表 榊原知美)
多文化状況にある保育活動への参加を通じた幼児の数量概念の発達過程と、それを支える保育者の支援の文化的特徴を解明することを目的とした研究である。保育の文化状況としては、保育者が文化的多数派とならない次の2つの状況、1. 文化的少数者の保育者が文化的多数者の幼児集団を保育する状況(状況1)、2. 保育者集団内と幼児集団内に文化的多様性がある状況(状況2)を対象とした。
- 2016-2018年度 科研費 基盤研究 (C)「対話的異文化理解の教育方法をめぐる実践及び理論的研究」(研究代表 呉宣兒)
大学生の異文化理解を促す授業実践の開発を行うことを目的とした研究である。日中韓の大学において、映画やイラストなどを共通の素材に用いた交流授業を行い、学生同士が対話の過程で経験する違和感を通して異文化理解を促すことを目指した。本研究ではさらに、学生の異文化理解過程の詳細な分析も行い、理論的な面からの考察を加えることで、心理学における文化理論の見直しも行った。

【研究業績】

1. 著書

- 榊原知美 (2019) 乳幼児期の学びの過程と特性1 認知的学び 杉村伸一郎・山名裕子(編) 保育の心理学 (pp. 145-156) 中央法規
- 榊原知美 (2018) 文化と発達 藤村宜之(編著) 発達心理学—周りの世界とかわりながら人はいかに育つか(第2版) (pp. 214-233) ミネルヴァ書房

2. 論文

- 榊原知美 (2020) 子どもの数理解と文化 心理学ワールド, 88, 23-24
- 渡辺忠温・榊原知美 (2019) 外国人児童生徒の指導者・支援者から見た子どもおよび保護者の抱える問題とその原因 国際教育評論, 15, 1-17
- 黄 琬茜・山名裕子・榊原知美・和田香 (2018) 多文化保育における幼児のことは：5歳児のコードスイッチングに着目して、保育学研究, 56 (3), 174-185
- 榊原知美 (2018) 遊びを通して育まれる数量・図形の理解とその援助 幼児教育じほう, 46 (7), 12-18
- 榊原知美 (2018) 保育がはぐくむ幼児の数量知識—幼小での連続性ある援助を目指して 初等教育資料, 965, 72-75

3. 学会発表等

- Sakakibara, T., Yamana, Y., Wada, M., Huang, WC., & Takagi, K. (2019.8). Preschool teachers' support for children in a multicultural context: Case study of Taiwanese preschools with Japanese Children. 19th European Conference on Developmental Psychology, Athens, Greece.
 - 榊原知美 (2019.3) 異文化理解エクササイズ(仮想交流授業)フォーラム「違和感を通してお互いを知る—文化間対話から共生は生まれるか?—」における報告 第11回国際教育センターフォーラム, 東京学芸大学国際教育センター
 - 榊原 知美・片 成男 (2018.9) 日本と中国の大学間における対話的交流授業を通じた学生の異文化理解プロセス—学生による物語の作成と分析— 自主シンポジウム「対話的異文化理解授業実践のあり方を考える—国際理解教育とのコラボレーション」での話題提供(企画者 渡辺忠温, 山本登志哉) 日本教育心理学会第60回総会, 慶應義塾大学
 - 榊原知美 (2018.1) 数量知識の獲得の文化的文脈 日本発達心理学会認知発達理論分科会第54回例会でのショートレクチャー, 名古屋
- ## 4. その他
- 榊原知美 (2020) 遊びを通して育まれる数量・図形の理解とその援助 幼児教育大全会(編) 幼児教育大全 (pp. 285-288) 全国国公立幼稚園・こども園長会
 - 文部科学省(著)『幼稚園教育要領解説』(フレーベル館)の作成協力 2018年3月

【主な学会活動】

- 日本発達心理学会
- 日本教育心理学会
- 日本心理学会
- 日本保育学会

【社会的活動】

- 東京学芸大学国際教育センター主催 第9回多文化共生フォーラム「周縁から日本の学校文化を捉える—文化心理学者がみた日本の学校」の企画・運営 2020年2月
- 大田区教育委員会幼児教育センター主催 平成31年度第5回幼稚園教諭・保育士合同研修会 講師「保育を通して育まれる数量・図形の理解とその援助」2019年12月
- 令和元年度秦野市立北中学校幼小中一貫教育公開保育研究会 講師「子どもは数をどのように学ぶのか—幼小での連続性ある援助を目指して」2019年11月
- 平成31年度免許状更新講習 講師(必修講習)「子どもの変化についての理解—子どもの発達に関する脳科学, 心理学等における最新の知見」2019年8月
- 平成30年度 幼稚園教育課程山形県研究協議会(最上・庄内地区協議会) 講師「幼児の資質・能力を育む保育のあり方について—数量や図形等への関心・感覚を育む保育を通して—」2018年7月

【教育活動】

- 「異文化間心理学」「国際教育演習B」「国際教育特別研究」「入門セミナー」東京学芸大学教育学部
- 「認知発達と学校教育」「フィールド研究」「特別研究」東京学芸大学大学院教育学研究科
- 「教育学特殊XV 発達と学習の文化心理学」慶應義塾大学文学部(非常勤)
- 「学習学研究法」青山学院大学大学院社会情報学研究科(非常勤)
- “Early mathematical development in Japanese preschools” Education Abroad Program, University of California, Meiji Gakuin U, Tokyo.
- その他, 東京学芸大学の国際教育選修(学部)および教育支援共同実践開発専攻教育AI研究プログラム(大学院)において卒論・修論指導を行った。